

地球環境

地球環境にやさしいまち

大気中の温室効果ガスの安定化に寄与するため、資源やエネルギーを効率よく利用するとともに、社会経済のあらゆるシステムが構造的に温室効果ガスの排出の少ない社会へ抜本的に変革するように、市民一人一人の具体的な行動を促す取組を進めます。

<指標>
・平成26年度までに市域からの温室効果ガスの排出量を2,094千t-CO₂にする。
(平成16年度比△26.8%)

<基本目標>

- ①省エネルギーの推進
- ②事業者における新エネルギー導入の促進
- ③家庭におけるCO₂排出量の削減
- ④エコドライブの推進
- ⑤地産地消の推進

<重点取組(市民プロジェクト)>

- ・エコライフプロジェクト
- ・エコドライブプロジェクト



自然環境

多様な自然が広がるまち

当市は緑に囲まれ、市民の意識においても豊かな緑のまちと認識されています。この緑を次の世代を担う子どもたちに引き継ぐとともに、自然と人との共生の視点に立った自然環境の保全の必要性が高まっていることから、現存する貴重な自然環境を健全な状態で確保します。

<指標>
・自然環境の豊かさに満足している市民の割合について、現状(平成20年度値)を維持する。

<基本目標>

- ①環境影響の軽減
- ②海岸の自然環境の保全
- ③河川・池沼等の自然環境の保全
- ④中山間地域の生物多様性の確保

<重点取組(市民プロジェクト)>

- ・豊かな清流蘇らせ隊プロジェクト
- ・きれいな水保全プロジェクト



生活環境

資源が循環するまち(ゼロエミッション)

現代の大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済活動の仕組みを根本から見直し、循環型社会の構築を目指します。また、人に健康被害を及ぼす公害をなくすと同時に、歴史的資源を活かした快適な都市環境を構築します。

さらに、地域資源である雪を活用した生活様式の提案により、地域への愛着と誇りを高めます。

<指標>
・平成26年度までに一般廃棄物(家庭系ごみ、事業系ごみ)の排出量を83,246tにする。(平成16年度比△9%)

<基本目標>

- ①事業者における低公害車の普及促進
- ②光化学スモッグの発生抑制
- ③地盤沈下対策の強化
- ④環境保全型農業の推進
- ⑤ごみの減量
- ⑥海岸のごみ撤去
- ⑦家庭ごみの再利用の推進
- ⑧町家、雁木など歴史的建造物を活かしたまちづくりの推進
- ⑨文化財の保存及び活用の推進
- ⑩雪を活用した生活様式の提案

<重点取組(市民プロジェクト)>

- ・ごみゼロプロジェクト
- ・不法投棄防止プロジェクト



環境学習

一人一人が環境市民のまち

環境保全の取組は市民一人一人の取組が重要であり、まずは市民が環境の情報に触れ、学び、気づく機会を創出するとともに、活動の機会を十分に確保します。

<指標>
・環境学習の参加者数*を平成20年度から平成26年度の合計で市の人口と同数にする。
*地球環境学校、環境情報センター、くわどり市民の森等における環境に関する講座の参加者数

<基本目標>

- ①指導者の育成
- ②学習機会の拡大
- ③「上越市の環境」の市民への周知
- ④環境情報の市民への提供
- ⑤市民プロジェクトの推進
- ⑥事業者との連携強化

